

ロジカルシンキング講座のご案内

本講座は下記内容で構成されています。順次内容を追加・更新して参ります。

序章	ロジカルシンキング講座：はじめに	9' 28"
第1章 -1	演繹法推論	14' 57"
-2	帰納法推論	13' 58"
-3	論理学から論理思考へ 演習問題解答例	23' 29" 12' 45"
第2章 -1	問題解決プロセスと内部ステップ	19' 27"
-2	問題解決プロセスと留意事項 演習問題 演習問題解答例	14' 04" 16' 45"
第3章 -1	論理ピラミッドの構築（前半部分）	16' 45"
-2	論理ピラミッドの構築（後半部分） 演習問題解答例	26' 53" 16' 45"
第4章 -1	ロジックツリー展開	23' 19"
-2	フレームワークの作成 演習問題解答例	22' 55" 10' 52"
第5章	因果関係図の作成 演習問題解答例	16' 30" 8' 48"
	合計	234' 55"

なお、改良のため、予告なく内容を改定する場合がありますを予めご承知おき下さいますようお願いいたします。

はじめに

- 人材が重要視される背景
- 今日のビジネスパーソンに求められる「考える力と伝える力」
- 考える力とは
- 論理思考と創造思考の役割
- 伝える力を向上させるためには
- 論理思考を活用するビジネスの場面
- 論理思考の定義

論理思考とロジカルシンキング、創造思考とクリエイティブシンキングはそれぞれ全く同じ意味で使用する

人材が重要視される背景

大きく変化する事業環境と低迷する日本経済のもとで、人材や知的資産こそが、これからの企業の価値を左右する時代になった

事業環境の変化

- ・ グローバル化の進展
- ・ IT・インターネットの普及
- ・ 新興国経済の急成長

低迷する国内経済

- ・ 世界規模の経済危機
- ・ 国内人口減少・高齢化
- ・ 危うい国家財政

日本社会・企業に求められること

- ・ 内的・外的状況の全体を正しく理解すること
- ・ ゼロベースから考え、変革を推進し、新たな価値を創造すること

企業の価値基準の変化

売上・利益規模

→ 将来の可能性

財務資産

→ 知的資産

従業員数

→ 人材

安定性

→ 迅速性・変化対応力

今日のビジネスパーソンに求められる「考える力と伝える力」

今、多くのビジネスパーソンは社会・企業が従来の延長では立ち行かない状況下で、「考える力と伝える力」を強化する必要に迫られている

日本社会・企業に 求められること

- 内的・外的状況の全体を正しく理解すること
- ゼロベースから考え、変革を推進し、新たな価値を創造すること

社会も企業も従来の枠組み・やり方の延長では立ち行かない状況

適切な課題設定
と
問題解決の必要性

人材となる
ビジネスパーソンに
求められる基本能力

考える力
伝える力

考える力とは

考える力とは問題意識・思いに基づいて、論理思考（ロジカル・シンキング）と創造思考（クリエイティブ・シンキング）を具現化する能力である



論理思考と創造思考の役割

論理思考（ロジカル・シンキング）は創造思考（クリエイティブ・シンキング）によるアイデアを検証し、最終的結論としての本質・解・価値の妥当性を高める



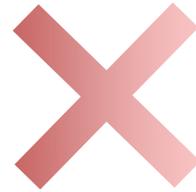
右脳の働きに基づいた「思いつき」と「洞察」の違いは、左脳が働いているかどうかによって生ずる

伝える力を向上させるためには

体験を通じた「論理思考」と「対人力」の試練が要る

Logical Thinking

わかりやすさ
に配慮



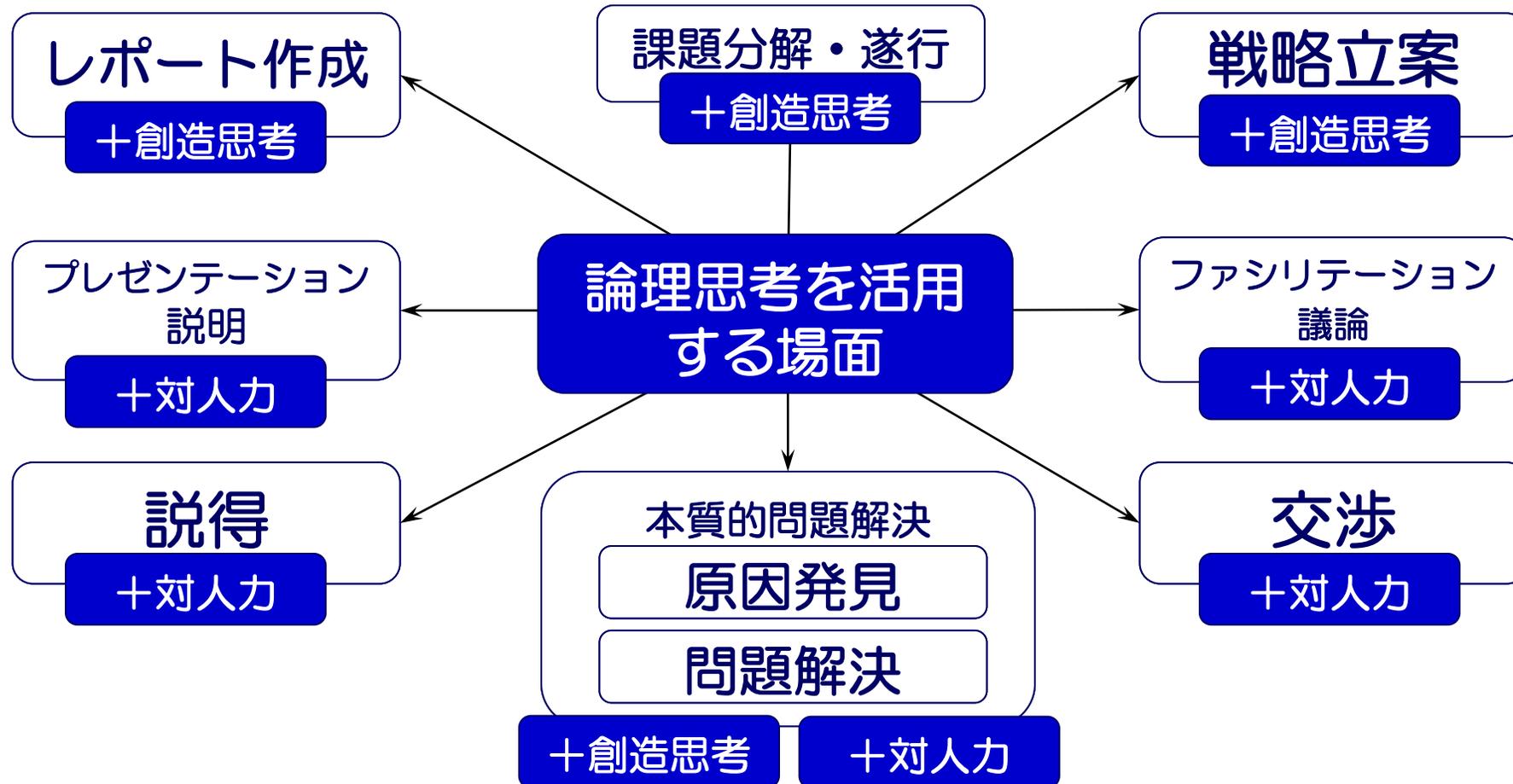
Communication

相手の立場
に配慮

基盤となる、ものの考え方と心配り

論理思考を活用するビジネスの場面

多くのビジネス・パーソンは絶えず論理思考を使うべき業務にタッチしている



注) 創造思考 (クリエイティブ・シンキング)、対人力は本講座の範囲外である

論理思考（ロジカル・シンキング）とは

- 事実や誰もが認める事柄（根拠）に基づいて、
- 結論に至る展開の筋道につながりを持ち、
- 目的に合った明確な結論を導出するための

思考である

